

「わくわく」「ほかほか」がいっぱいの学校に

新入生4名を迎え、全校児童33名でスタートしました。

令和7年度は、学校経営方針を「**安心があふれ、自信が育つ学校づくり**」、学校教育目標を「**自分を大切に まわりを大切にできる わくわく ほかほかがあふれる東野小にしよう**」としました。環境面と人間関係両面で心理的安全性を確保しつつ、子どもも職員も、持っている力を思い切り発揮できる学校にし、自己実現をする機会をたくさんもつことで、「わくわく」「ほかほか」の気持ちがあふれ、自己肯定感が高まるようにしていきたいと思っています。

「ほかほか」については、昨年度取り組んだ、思いやりの心を伝えるメッセージカードが、ほかほかの木に「800ほかほか」実りました。今年度は「1000ほかほか」を達成できるくらいたくさんの思いやりの心があらわれることを期待しています。

また、今年度は「わくわく」を加えました。自分はもちろん、まわりの人も喜ぶ、ためになる「わくわくすること」を提案し、実現することで達成感や自己有用感がもてることを期待しています。学校行事や特別活動、児童会活動等で子どもから「やりたいこと」がたくさん出ることを楽しみにしています。このやりたいことは「わくわくの種」として掲示し、花や実がなるまで（実現するまで）を見える化してそのプロセスも大切にしていきたいと思っています。

授業でも、いつも一律の学習場面でみんなが一斉に学習するのではなく、問題が選択できたり、問題解決までのペースが自分で決められたりする、自分で自分の学びをコントロールできる「自由進度学習」を取り入れていきます。このことにより、学習意欲が高まり、授業での「わくわく」（主体性）が高まることを期待します。

さらに子どものできるようになりたいの実現のために、保護者・地域の皆様に「**学校応援隊隊員**」を募集させていただいています。昨年度は、プール監視の補助、校外学習の付き添い、授業への参加等をしていただきました。学校側としてありがたいのはもちろんですが、参加してくださった応援隊の方からも「子供から元気をもらった」「役に立ててうれしい」等の感想をいただきました。双方のウィンウィンであってこそ、地域の学校としての存在価値があると考えています。登録していただくと学校より学校だよりや案内のメールが届きます。これなら、ということだけ参加していただいて結構です。まずは、登録を！お待ちしております。

地域のコミュニティスクールとして、「**安心があふれ、自己肯定感が高まり、自信があふれる東野小学校**」にすることにどうぞご協力お願いいたします。